

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	市民農園事業	担当課	経済課	
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	平成12年度～
	施策	農業の支援	種別	任意的事務
	基本事業	農産物の消費拡大支援	市民協働	
予算科目コード	01-060103-05 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
都市化が進展する中で農業体験の場を提供するため、平成12年度に土に親しむ農園を、平成20年度に瓜代農園をそれぞれ開園した。	土地所有者から農地を借り上げ、区画単位で利用希望者に貸し出す。また、農園利用者に対し農具の貸出や堆肥を提供するとともに、農園施設の管理を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民農園で行う野菜や花等の栽培をとおして、作付け・収穫の楽しみを体験する場を提供し、併せて農業に対する理解を深める。	
（参考）基本事業の目指す姿	
消費者に、本市の農作物や加工食品について身近に感じてもらう。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
瓜代農園における利用率が向上しない。また、区画を仕切るロープや個々の区画番号を知らせる看板の破損等が発生している。	転入者へのパンフレットの配布（随時） 広報及びHP掲載（H31年1月） もりんふおへの掲載（H31年1月）
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
使用料の検討や広報やHP等のこれまでのPR方法に加え、もりんふお等の新たな手法を用いたPR活動を実施するとともに、情報発信の回数を増やす。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	維持管理に必要な基本的費用のみあり、現状維持とする。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
瓜代農園について、ホームページや転入者へのチラシ配布等の周知活動のPR活動に加え、イベントや各種SNS等を用いて情報発信し、利用率の向上を図る。	ホームページによるPR、広報への掲出、転入者へのチラシ配布等の周知活動を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
土に親しむ農園利用率（%）	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
瓜代農園利用率（%）	68.59	67.31	64.00	68.00	86.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下	広報等で周知活動を実施したが、瓜代農園の利用率は若干減少した。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	広報への掲載で利用申込があったため、広報への掲出回数を増やす。また、瓜代農園の利用率向上のため、使用料の見直しを行う。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	4,165	4,582	4,845	4,964	4,964
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	3,410	3,399	3,262	3,358	3,358
	一般財源	755	1,183	1,583	1,606	1,606
正職員人工数（時間数）		581.00	565.00	818.00	0.00	0.00
正職員人件費		2,382	2,317	3,415	0	0
トータルコスト		6,547	6,899	8,260	4,964	4,964

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	農が繋ぐまち地域資源連携推進事業（地方創生推進交付金事業）	担当課	経済課	
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	平成29年度～令和元年度
	施策	農業の支援	種別	任意の事務
	基本事業	農産物の消費拡大支援	市民協働	事業協力
予算科目コード	01-060103-10 補助	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>平成27年、28年度において農産物等の地産品を有機的につなげ、地域資源の有効活用と地域活性化を活動目的とした「もりや循環型農食健協議会」が、グリーン・ツーリズム事業、直販販促事業、商品・メニュー開発事業等を実施し、人の流れを創出してきた。</p> <p>この流れを持続、増加させるために、新たな取組を加え、事業を実施する。</p>	<p>これまで試験的に取組を実施している「もりや循環型農食健協議会」と連携し、下記の4事業を柱として市内の観光・農業資源等の地域資源を連携させ、人の流れを創出する。</p> <p>①グリーン・ツーリズム事業 グリーン・ツーリズムマップ、イメージ動画の作成及びイベント等の実施</p> <p>②直販販促事業 月3回の朝市の実施及び都内への出店</p> <p>③商品・メニュー開発事業 市内事業者や茨城大学との共同研究による商品・メニューの開発</p> <p>④都市近郊農業モデルの構築事業 事業者や茨城大学、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構等の協力による都市近郊農業モデルの構築</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>農業を切り口に、地域資源（農産物・自然・文化）をつなげ生かす活動（朝市、グリーン・ツーリズム、商品開発）をとおして、加工業・飲食業・観光事業分野が自主的、かつ主体的に地域産業を発展させる環境を構築し、新たな農業就労者が育っていく環境を整備する。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>地域資源やイベントを活用して、市内における賑わいを創出する。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>事業の実施状況や成果を把握し、適正な事業実施（経費支出）を把握する必要がある。</p> <p>また、都市近郊農業モデルの構築において、研修の効果を把握する必要がある、さらにはその効果を農業者等の市民に幅広く周知する必要がある。</p>	<p>定期打合せを毎月1回以上実施する。</p> <p>1月までに、ドローン等を活用した場合の効果把握の方法を決定し、3月にHP等で効果周知を目指すよう進捗管理する。</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>実施主体に対し、詳細に及ぶ進捗管理を実施する。</p> <p>また、研修の効果が現われうる事項の情報を幅広く入手し、それらを検証することによって、適切に効果を把握する。そして、その効果を波及させるため、HP等で周知を図る。</p>	

次年度のコストの方向性（→その理由）

<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 削減	<p>計画に沿った費用負担を継続する必要があり、次年度の計画した費用は、今年度より減少するため。</p>
--	--

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度 of 取組（評価、課題への対応）
都市近郊農業モデルの構築において、着実に実施できるような体制を整備する。	都市近郊農業モデルの構築では、研修生が営農を開始し、グリーン・ツーリズムでの圃場としても活用した。 また、市のホームページにて、当該事業がわかるように内容を変更し、朝市の開催情報を掲載した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
イベント等における直販の売り上げ（千円）	0.00	13,211.11	17,748.20	15,300.00	15,000.00
グリーン・ツーリズム参加者数（人）	0.00	214.00	231.00	285.00	250.00
成果の動向（→その理由）					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	イベント等における直販の売り上げ、グリーンツーリズム参加者数について、計画どおり成果が上がっている。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	事業開始時に作成した3年間の事業計画に則って事業を実施するため、3年目の経費は減少。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	0	11,362	18,431	18,990	0
	国・県支出金	0	5,681	9,212	9,485	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	9,219	9,505	0
	一般財源	0	5,681	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	484.00	450.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	1,984	1,879	0	0
トータルコスト		0	13,346	20,310	18,990	0